

意見交換会実施報告書（地区コミ単位）

【3班】

地区コミ	市比野地区コミュニティ協議会	参加人員	75人
開催日時	平成25年 8月 8日（木） 19:00 ～ 20:45		
開催場所	樋脇保健センター		
出席議員 （担当）	議員名	出欠	担当
	中島 由美子	○	
	橋口 博文	○	
	森永 靖子	○	司会・進行
	議員名	出欠	担当
	川添 公貴	○	
	森満 晃	○	記録・報告書

意見交換の内容

（凡例 ◆地区の意見 ◇議員の意見）

1 地区コミュニティ協議会の位置づけ及び支所のあり方をどのように考えるか。

《意見交換の概要》

- ◆ 将来、地区コミが支所の業務を引き受けることになるのか、見解は。
- ◇ 支所の廃止は白紙である。現在、検討されていない。本庁と支所のあり方は変わらない。
- ◇ 地方交付税に、支所数や支所の職員数が反映されることが検討されている。そうすると、支所の廃止は、地方交付税の減額にもつながるので廃止は難しい。このことは9月議会で一般質問したいと考えている。
- ◆ 地区住民について自治会加入率を上げるには。
- ◇ 自治会加入促進懇話会の取組を説明。この取組の中で提案された対策は、ほぼ実施済み。その結果として、市全体で、下がりつづけていた加入率が下げ止まった状態であることを説明。
市民課でも転入時にコミュニティ課の職員が自治会加入の説明を行っている。地区コミでも自治会加入促進の組織をつくって、若い世代を中心に、加入率アップを図ってほしい。
- ◆ 第3期の地区振興計画策定について、限られたスタッフと時間では、地域住民の意見やビジョンを取り込んだ計画書の作成は難しいと考えるが、市の方針は変わらないか。
- ◇ 自分たちの地区を住みやすくするために、自助・共助に公助を加えた形で計画書を作成する方がよいのでは。
- ◇ 地区にいる職員・議員を活用してはどうか。

2 地区公民館の無償譲渡に伴う運営管理をどう考えるか。

《意見交換の概要》

- ◆ 4つの地区公民館が無償譲渡されるが、維持管理費は、地区に交付されるごみ分別収集の補助金を充てる予定。しかし、本年度は交付額が少なくなっており、今後の運営管理費等をどのように維持したらよいか。
- ◇ 補助金の増額は見込めないなので、温泉地区を利用したコミュニティビジネスを検討されることをすすめる。
- ◇ 都市公園等の指定管理を地区コミとして受けることはどうか。
- ◆ 温泉地区として、すべての温泉の指定管理を受けることができれば良いが、地域にある資源は全て地域で管理できるようにしてほしい。

- ◇ 指定管理の更新の時期を迎えるので、指定管理を受けられるよう手続きをとっていただきたい。

3 コミュニティ協議会が支援する市比野温泉地域活性化協議会との連携について

《意見交換の概要》

- ◆ 地域活性化活動のイベントに対して、今後の支援のあり方は。市としての力強いバックアップをお願いしたい。
- ◇ 地元の若い方々のご意見を聴きながら、連携をとって進めていただきたい。市民活動支援の補助金等も活用できると思われる。
- ◆ 平成21年度に作成した市比野整備計画が、震災後、止まった状態になっている。今後、この計画書がどうなるのか、自分たちが何をどうすればよいか。
- ◇ 原子力の周辺対策補助金が財源となっており、発電所の運転停止もあり、難しい状態にある。本市のスポーツ大使等も活用され、サッカーのまち・温泉のまちをアピールしていくことで打開できるのでは。

4 その他

《意見交換の概要》

- ◆ 旧樋脇高校跡地の利活用について今後の取組・進め方の助言をお願いしたい。
- ◇ 跡地利用の方向性が示されたので、県としても必要な支援をされと考える。
- ◇ 今後の進め方についても、地元のご意見を参考にしながら助言、指導していきたい。

《要望》

- ◆ 県外の「よさこい」に自費で参加し、薩摩川内市のPRをしている。個人負担の軽減のためにも市の補助金の増額も検討いただきたい。